

岩田藤七〈ガラス飛文平茶碗〉
1966年



黒田長秋〈耀貝螺鈿飾箱〉
1974年

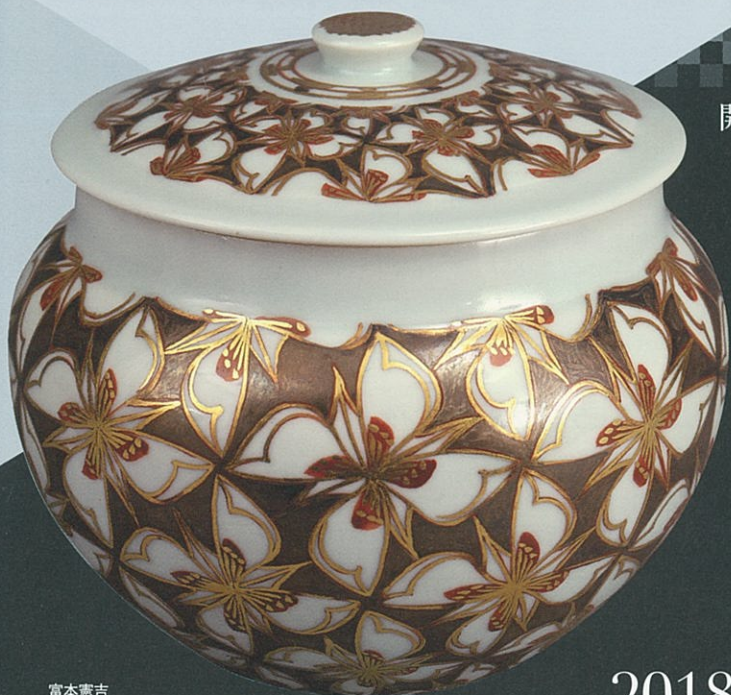


田辺一竹斎(二代竹雲斎)
〈花籃 静日〉1979年



東京国立近代美術館工芸館名品展

多彩なる 近現代工芸の煌めき



富本憲吉
〈色絵金銀彩四弁花文飾壺〉1960年

開館時間 ● 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

休館日 ● 7月16日、9月17日、9月24日を除く月曜日、
7月17日(火)、8月14日(火)、9月18日(火)、9月25日(火)

観覧料 ● 一般500円(400円)、大学生200円(160円)
※()内は20名以上の団体 ※高校生以下、身障者手帳受給者は無料

会場 ● 江別市セラミックアートセンター
〒069-0832 北海道江別市西野幌114番地5
TEL.011-385-1004 FAX.011-385-1000
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/ceramic/>

主催：東京国立近代美術館、江別市
後援：北海道、北海道教育委員会、朝日新聞北海道支社、北海道新聞社、
読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社

2018. 7.14(土) - 9.30(日)

本展は、東京国立近代美術館工芸館が所蔵する工芸作品を効果的に活用し、広く地域の鑑賞機会の充実及び美術の普及を図るとともに、地域の文化振興に貢献するため、東京国立近代美術館工芸館巡回展事業として開催するものです。

日本の工芸品は、特に明治時代、欧米における熱狂的な日本ブームによって、海外へ大量に輸出されていきました。明治政府は、殖産興業及び外貨獲得という目的から、この動向を支持し、工芸を重要な輸出品目と位置付けて、工芸品制作を奨励しました。こうして、技巧を凝らした、類い稀な作品群が次々と生み出され、世界に冠たる日本近代工芸の発展の基礎が形成されたのです。その後、その技を受け継ぎながらも、工芸品制作の中に自らの個性を見出そうとする作家たちの登場や、美術工芸団体の設立などにより、日本の工芸は、伝統と創造性が融合され、まさに現在、それらが昇華した姿として確立されています。

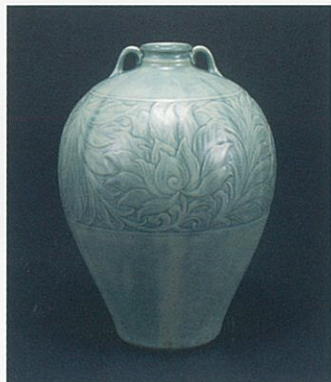
本展では、こうした日本の近現代工芸の技と伝統と歴史、そしてそれらから生み出された「美」をご覧いただくため、東京国立近代美術館工芸館の膨大な所蔵品の中から、陶磁・ガラス・漆工・木工・竹工・染織・人形・金工の各分野を代表する珠玉の名品を展示します。これらの作品群を通して、世界でも高い評価を受けている日本の近現代工芸の神髄に触れていただければと思います。



鈴木長吉《十二の鷹》(部分) 1893年



稲垣稔次郎《結城紬地型絵染着物 竹林》1958年



板谷波山《雲青磁牡丹彫文花瓶》1925年



鹿兒島寿藏《紙壺人形 地久》1961年



水見晃堂《金銀線象嵌榿平卓》1960年



藤田喬平《飾宮 菖蒲》1973年



藤井達吉《銅切透七宝卷雲紋手箱》1920年

2018年8月4日(土) 14時～

講演会「日本の近現代工芸の歩みから現在(いま)を考える」

場 所：セラミックアートセンター-研修室
講 師：東京国立近代美術館工芸館 唐澤昌宏工芸課長

定 員：60名
聴講料：無料
申 込：事前申込み必要

2018年9月1日(土) 14時～

五感で楽しむ鑑賞会「詩人探偵」

場 所：セラミックアートセンター-展示室
講 師：東京国立近代美術館工芸館 今井陽子主任研究員、西岡梢研究補佐員
内 容：ファンリテーターの案内により、展示作品を五感で見つめ、自身の鑑賞ポイントを詩的に表現することで、作品の理解を深めるとともに、鑑賞力の醸成を図ります。

定 員：15名(小学校3年生～一般)
受講料：無料
申 込：事前申込み必要

2018年9月9日(日) 10時～16時

金継体験 よみがえれ! 金継チャレンジ教室

場 所：セラミックアートセンター-教室工房
講 師：セラミックアートセンター-陶芸指導員
定 員：10名(一般)
受講料：1,000円
受 付：2018年8月26日(日)から
申 込：電話での事前申込み必要

2018年8月26日(日) 10時30分～15時

お茶会

席 料：[一般] 前売(観覧料込)1,200円
当日800円(要入館料)
[大学生] 前売(観覧料込)960円
当日800円(要入館料)
[高校生以下] 800円(観覧無料)

協 力：武者小路千家官休庵北海道官休会
札幌教室 赤羽守一氏

※お菓子がなくなり次第終了

2018年9月15日(土) 10時～12時

金工体験 オリジナルのペン皿を作ろう!

場 所：セラミックアートセンター-教室工房
講 師：金属工房ガルフ 西山省一氏
定 員：20名(小学高学年～一般、小学生は保護者同伴)
受講料：1,500円
受 付：2018年9月1日(土)から
申 込：電話での事前申込み必要

2018年9月23日(日) 10時～12時

木象嵌体験
オリジナルのプレートを作ろう!

場 所：セラミックアートセンター-教室工房
講 師：design studio shimada 島田島夫氏
定 員：10名(小学高学年～一般、小学生は保護者同伴)
受講料：1,500円
受 付：2018年9月9日(日)から
申 込：電話での事前申込み必要



江別市セラミックアートセンター

〒069-0832 北海道江別市西野幌114番地5
TEL 011-385-1004 FAX 011-385-1000
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/ceramic/>

交通案内

バスで：JR野幌からJRバス「野幌総合運動公園行」
もしくは「北広島・南の里行」乗車、
「セラミックアートセンター前」下車。所要時間約10分。
お車で：札幌・岩見沢から国道12号線利用の場合、約40分。駐車無料。